昭和42年度日本気象学会臨時総会ならびに秋季大会

（プログラムその他詳細は本文339～363頁参照）

1. 期　日：11月8日（水），9日（木），10日（金）
2. 場　所：気象大学校（千葉県柏市豊四季）
3. 行　事：下記のとおり

行　　事		日　　時
大会（研究発表）	（第1，2，3会場）	11月8日（水）10:00～12:00
〃　〃	〃	〃　13:00～17:00
全国理事会		〃　17:30～
大会（研究発表）	（第1，2，3会場）	11月9日（水）10:00～12:00
臨時総会	（第1会場）	〃　13:00～14:00
シンポジウム（集中豪雨）	〃	〃　14:00～17:00
懇親会		〃　17:30～
大会（研究発表）	（第1，2，3会場）	11月10日（金）10:00～12:00
〃　〃	〃	〃　13:00～17:00

大会委員長　中　野　猿　人

（注　意）

1. **総会**へ出席できない会員は，必ず**本誌挿入の委任状を学会事務局宛にお送り下さい．**
2. **上野駅から常盤線**電車を利用して**会場まで約1時間を要します**．東京都内から会場まで通うのに必要な時間を考慮して，研究発表会の開始時刻を10時にしてありますから，**遅れないようにご注意下さい．**
3. 今大会では，研究発表会の会場を3会場にいたしました．これはこれまで時間が余り短くて充分な討論ができなかった点を多少でも緩和するためのものです．1題あたりの平均持時間は約20分とってありますが，このような趣旨に沿って発表は15分以内にまとめ，残りの時間を討論にあてるようにご協力下さい．

月例会のお知らせ

第14回風に関するシンポジウム

会　　期：12月8日（金）（変更）
会　　場：農業技術研究所（東京都北区西ヶ原）
研究発表申込：氏名（共同研究の場合は発表者名に○印を付すること），題目を明記の上，10月10日（火）までに，東京都千代田区大手町気象庁観測部測器課　竹内清秀宛に申込むこと．

月例会研究発表募集

主　　題：高層気象
会　　期：12月8日（金）10時より
会　　場：未定（東京）
講演申込先：気象庁観測部高層課　清水正義
締切期日：10月20日（金）

気象災害月例会プログラム

日　　時：昭和42年10月13日（金）10時より
場　　所：東京管区気象台会議室（気象庁8階西側）

講　　演

1. 奥田　穣（気研）：農業干害の指標としての雨量の一取り扱い
2. 大滝俊夫（気象庁）：線型近似とその応用
3. 大野義輝（気象庁）：東北地方における雨量実況の入電状況
4. 浅井辰郎（お茶の水大）：東京都防災基本図の作製経過と要点
5. 三寺光雄（気研）：長崎県北松地帯の地辷りと気象
6. 高橋浩一郎，常岡好枝（気研）：災害の構造における人の位置
7. 関口　武（東京教育大）：風水害による家屋災害
8. 石原健二（気象庁）：気象災害の環境条件
9. 谷　信輝（農技研）：台風災害対策の研究

気候変動に関するシンポジウム（第2回）

会　　期：11月18日（土）10時～17時
会　　場：京都市左京区下鴨半木町
　　京都府立総合資料館4階第1会議室

プログラムは次号掲載予定

天気
昭和四十二年九月二十五日発行
昭和四十二年九月二十五日印刷
第十四巻第九号
毎月一回（二十五日発行）
発行者　大田正次
発行所　一ノ七　気象庁内
日本気象学会
印刷所　三報社印刷株式会社
永井佐治太郎